

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表: R5年5月9日

事業所名 マナビズムSPEAKIN' 吹田岸辺教室 保護者等数(児童数)41 回収数 17 割合 41%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4				外の音が集中力に影響しないか気になる	感染症対策のため扉を開けて実施しておりますが、5類移行後は扉を閉めて訓練を実施する予定です。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	5	5		教室までがエレベーター等なく階段である。事業所内はバリアフリーだが靴の着脱スペースなどには手すり等なし。	エレベーターのない建物のためご不便をおかけしております。靴の着脱スペースについては、お子さん用の椅子を置く等、手すり替わりに手を置く設備等の設置を検討していきたいと思っております。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	16	1				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	3				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	5	10			
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1			変更等のご連絡も丁寧にいただいております。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	2			いつもレッスン後に丁寧な説明があります。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	4			いつも親身になって聞いていただいております。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	8	8		保護者会などは特に求めている。	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	8			苦情があるのか分からない。苦情を聞きませんので、そもそも苦情がないと思っております	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	7	2			今年度よりWebサイトをリニューアルし、行事やアンケート結果等をお知らせしていきたいと考えております。
14 個人情報に十分注意しているか	16	1					
非常時	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	4	2			

等 の 対 応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	6	6		年に2回避難訓練を実施しております。またホームページ等で実施内容をご報告していきたいと考えております。
	満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	12	5		いつもとても楽しみにしています。
18		事業所の支援に満足しているか	15	2		振替で1日二時間の利用を認めてほしい。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。